

受賞2団体の報告会を開催（初めて高校生が受賞）！

～令和2年度 国土交通省「i-Construction大賞」受賞報告会の開催～

国土交通本省「i-Construction大賞」の授与式が、去る3月5日にオンラインにて開催され、北海道内の関係では、工事・業務部門の優秀賞を受賞した「濱谷・山田・真壁経常建設共同企業体（株式会社濱谷建設、株式会社山田組、真壁建設株式会社）」と、i-Constructionコンソーシアム会員の取組部門の国土交通大臣賞を受賞した「北海道岩見沢農業高等学校」が参加しました。

高校生が受賞したことは今回が初めてということもあり、北海道のi-Constructionの更なる推進に向け、この度、受賞報告会（フリートーク）を3月11日（木）に行います。

受賞団体の取組概要は、別紙1のとおりです。

1. 「i-Construction」（アイ・コンストラクション）とは

北海道内の建設業の就業者は高齢化が進んできており、中長期的な公共工事の品質確保のためには担い手の確保、育成が重要な課題となっています。この課題に対応するためICT（情報通信技術）等を導入することによって建設現場の生産性向上を図り、若者が希望を持って入職できるような魅力的な建設業・建設現場を目指す取組。

2. 「i-Construction大賞」とは

国土交通省において、i-Constructionに係る優れた取組（3部門：工事・業務部門、地方公共団体等の取組部門、i-Construction推進コンソーシアム会員の取組部門）を表彰（国土交通大臣賞・優秀賞）し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、取組の推進を図ることを目的に平成29年に創設。

3. 受賞報告会

日 時：令和3年3月11日（木） 10：00（※詳細は別紙2のとおり）

場 所：札幌第1合同庁舎15階 特別会議室

備 考：報告会の形式は、フリートークにて行います。

岩見沢農業高等学校の取組については、動画上映も行います。

4. 取材

受賞報告会での取材は報道関係者のみに限らせていただき、各社1名までとさせていただきます。

取材を希望の方は、3月10日（水）12：00までに、以下のとおり、メールにてご連絡ください。

- 件 名：【取材希望】令和2年度「i-Construction 大賞」報告会
- 本 文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）
- 送付先：karasawa-k22aa(at)mlit. go. jp, suzuki-s22ag(at)mlit. go. jp
（(at)を@に置き換えた上で、必ず両名に送付してください）

※取材に当たっては、新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用、咳エチケット、手指の消毒や手洗いにご協力をお願いいたします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

事業振興部 技術管理課

技術管理企画官 西村 敦史（内線 5483）

開発専門官 唐澤 圭（内線 5650）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

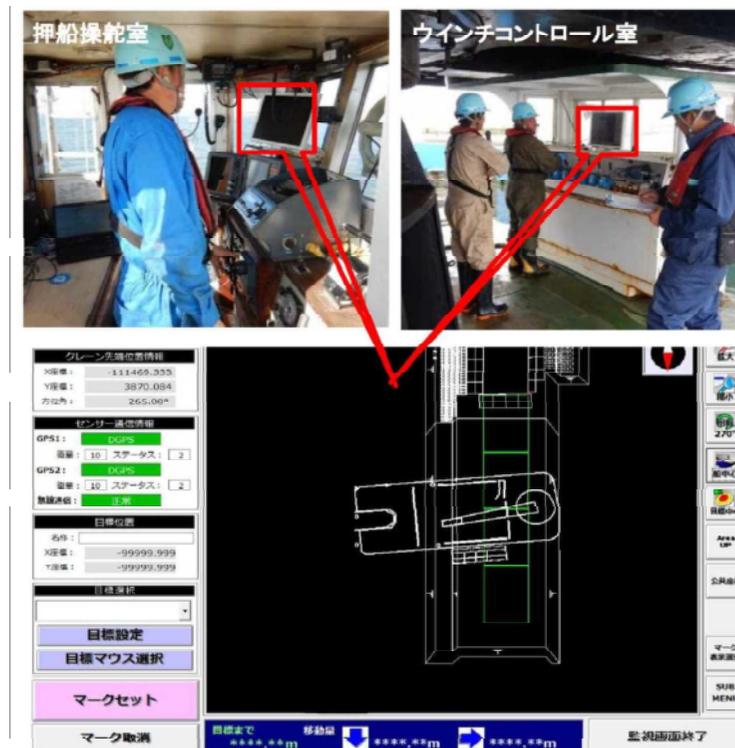


2. 釧路港新西防波堤建設工事

推薦者	北海道開発局
発注者	北海道開発局 釧路開発建設部 釧路港湾事務所
業者名	濱谷・山田・真壁経常建設共同企業体
工期	2019年03月27日～2020年02月25日
施工場所	北海道釧路市
請負金額	443,338,000円

【工事・業務概要】

本工事は釧路港の防波堤整備における床掘浚渫、基礎捨石投入、ケーソン据付の一連工事において、外海と航路に面しており、潮流・航跡波の影響、霧の発生等、非常に厳しい施工条件であったが、GNSSによる作業船位置管理や基礎捨石の機械式均し等のICT導入により工期の短縮、高精度の施工管理や安全性の確保を実現した。



作業船位置誘導管理システム

- 作業船に、GNSSによる作業船位置誘導管理システムを活用し、オペレータ室のモニタ上に作業船と施工状況を表示することで、作業船位置決めにおける作業の手戻りを解消し、約5日程度の工期を短縮した。
- 従来は、オペレータの感覚で床掘の位置決めを行っていたが、本システム改良により、オペレータの負担なしにモニタ上で掘跡の確認ができ、掘り残し等を解消し、効率的な浚渫作業を実現した。
- 防波堤の一連工事にICTを導入することにより、寒冷海域での冬期の防波堤工事も比較的容易となる。さらに、霧の影響により視界が悪い場合、作業船位置決め等に時間を要していたが、作業船位置決めを迅速に行えることが明らかとなり、霧が発生しやすい海上工事での効果も確認できた。

18. 高校生が挑戦したICT施工の全面実用化に向けた研究

推薦者	北海道岩見沢農業高等学校
業者名	北海道岩見沢農業高等学校
本社所在地	北海道岩見沢市

【取組概要】

労働力不足が心配されている空知の土木業界の未来のためICT施工の全面実用化を目的に研究を行った。

排水性が悪い本高校の畑2,000㎡の地盤改良を実施し、ICT施工と従来施工の人員や時間を比較検証した。また、生徒自らがドローンを飛ばせるよう飛行訓練を行い、飛行許可を取得した。さらに、空知建設業協会の協力により、最先端のICT重機での施工比較も行った。



- 高校生が起工測量から設計、重機施工、出来形計測までの全ての土木プロセスについて、ICT施工と従来施工の時間や人員を比較することにより、ICT施工による生産性向上、安全性を実証した。
- 同じ作業を繰り返す排水工において、経験が浅い者による作業効率の比較・検証を実施し、1サイクルの時間を計測した。高校生5人のサイクルタイムは、ICT重機のほうが早い段階で作業スピードが上がっていることがわかった。
- 最先端のIT技術を競うXtecイノベーションにて、北海道銀行、日本経済新聞より「地域創生特別賞」を受賞し、地域の未来につながる活動と客観的に評価され、活動の意義を再確認できた。

令和2年度 i-Construction 大賞の受賞報告会

日時：令和3年3月11日（木） 10：00～

場所：札幌第1合同庁舎15階 特別会議室

<第1部 工事・業務部門 【優秀賞】>

10：00～（30分程度を予定）

受賞工事名「釧路港新西防波堤建設工事」

受賞者：濱谷・山田・真壁経常建設共同企業体

出席者：(株) 濱谷建設、(株) 山田組、真壁建設 (株)

<第2部 i-Construction 推進コンソーシアム会員の

取組部門【国土交通大臣賞】>

10：45～（30分程度を予定）

受賞取組名「高校生が挑戦したICT施工の全面実用化に向けた研究」

受賞者：岩見沢農業高等学校

出席者：岩見沢農業高等学校（農業土木工学科3年生は9名を予定）

空知建設業協会

～ 次 第（第1部、第2部ともに共通） ～

1. 開会
2. i-Construction 大賞の受賞報告（取組概要・フリートーク）
※第2部では、冒頭に取組動画の上映を行います。
3. 記念撮影
4. 解散

（その他）

- ・ 当日取材に来られた報道関係者の方で、希望される場合には、第2部で上映した動画データ（MP4形式）を提供いたします。
- ・ 当日は、新型コロナウイルス感染対策のため、マスクの着用、咳エチケット、手指の消毒や手洗いにご協力をお願いします。
- ・ 当日、体調が悪い方は、ご出席をお控えいただくようお願いいたします。